
「くも膜下出血における血腫クリアランス障害と遅発性脳虚血・水頭症・長期転帰の関連」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2012 年 1 月 1 日から 2024 年 4 月 30 日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、くも膜下出血の診断で入院治療を実施した患者さんのうち、開頭クリッピング術を行った患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

くも膜下出血は高い死亡率と後遺症率を有する重篤な疾患として知られています。また、くも膜下出血の病態には、初期出血による脳損傷に加え、遅発性脳虚血や水頭症などの二次的病態を合併することで長期予後が悪化するという特徴があります。こうした二次的病態に関連する因子を探索することで、くも膜下出血の長期予後を改善する治療法の開発につながる可能性があります。その因子のひとつとして、くも膜下出血の血腫の消退速度が考えられます。本研究では、これまで当院で治療を行ったくも膜下出血の患者さんのデータを用い、血腫の消退速度が臨床転帰に与える影響について明らかにすることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026 年 12 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約 1 か月程度。

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科で入院治療を行った患者さんの診療記録、手術記録から

収集した年齢や性別、既往歴などの背景、及び来院時の重症度や出血や動脈瘤の部位・サイズ、手術の情報、合併症、予後など

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である栢原 智道が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

通常の診療過程で得られた患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究責任者 埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科 栢原 智道

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科 栢原 智道

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-3678（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：くも膜下出血における血腫クリアランス障害と遅発性脳虚血・水頭症・長期転帰の関連

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科 栢原 智道